

井上病院の実績（8月分）

外来患者数(平均)		救急搬入件数	手術件数		レントゲン			
164.7人/日	65件/月	外科	整形外科	CT	MRI	MMG	ERCP	
		7件	12件	214件	66件	42件	0件	

訪問診療	訪問看護	訪問リハビリ	内視鏡検査				一般病棟	平均在院日数	在宅復帰率
			上部	下部	EMR	ESD			
100件	293回	289回	179件	36件	10件	0件	地域包括ケア病床	18.3日	83.3%
							緩和ケア病棟	27.0日	36.8%

外来診療担当表											
診療科目		曜日/時間帯		月		火		水		木	
		午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
外科	消化器 肛門 外科全般	院長		院長	田中	外科(九大)	外科(九大)	院長	大内田(九大)	田中	安部
	血管		山元							山元	
	乳腺						安部★		院長★		院長★/ 九大★
内科	内科全般	久原 國弘 (10:00～)	國弘	増谷 高田(非常勤) (10:30～)	國弘	高田(非常勤) (10:30～)		高田(非常勤) (10:30～)	久原	國弘	國弘/ 吉峯晃 (第4)
	血液腫瘍内科 内科全般					佐々木 (福大)					
	糖尿病	前田★	前田★	前田★	前田★ (～15:00)		前田★	前田★	前田★		
	循環器	吉峯有★ (非常勤)	吉峯有★ (非常勤)	中村 (副院長) 吉峯有★ (非常勤)	(吉峯有)★ ※1	山元		中村 (副院長)		志賀★ (非常勤)	志賀★ (非常勤)
	呼吸器					藤田★ (福大)					
消化器内視鏡検査		増谷★	久原★	國弘★	増谷★	久原★	久原★	久原★		久原★	久原★/ 増谷★
整形外科 リハビリテーション科		深水	坂本★		坂本★	深水	深水	新井		坂本	整形 ※5 (非常勤)

★・・・この時間帯は、予約制となっています。事前にお問い合わせください。 予約受付時間:平日14:00～16:00

手術・学会出張等で変更となる場合がありますので、詳細につきましてはお電話などでお尋ねください。

※1 火曜日午後の吉峯有香医師の診療は月曜日が休日の場合の予備日となります。

※2 土曜日の外科診療は田中医師、院長が週替わりで担当になります。

※3 土曜日の内科診療は國弘医師が第1・2・3・5週、吉峯晃平医師が第4週の担当となります。

※4 土曜日の循環器診療は第1・2・4週の診療となります。

※5 整形診療は医師が変更になることがあります。

※ 個人健診は月曜日・火曜日・木曜日・金曜日の14:00～16:00までの受付となります。

※ 受付時間は平日16:00(土曜:11:30)までとなります。急患に関しましては、この限りではございません。

ご不明な点等ございましたら、当院外来にお問い合わせください。

【診療受付時間】

平日:8:30～11:30、14:00～16:00

土曜:8:30～11:30



いのうえ通信 Vol.124 2025.10



(検査科)

病院理念

地域のみなさまが住み慣れた地域でニーズに沿った療養を継続できるよう、安心され、信頼され、共感を得られる組織づくりを目指します。

診療指針(私たちの役割)

『予防・早期発見・急性期～在宅復帰までの一貫した
ケア・ターミナルケアの実現』

- 当院は、かかりつけ医機能を持った身近な急性期病院としての役割を担い、救急医療、高次医療機関との連携、在宅支援に向けての地域連携などに努め、治し支える医療を実践します。
- 当院はがん拠点病院と連携を図り、がんの診断、治療から緩和医療、在宅支援まで質の高いがん診療を提供することに努めます。
- 当院は疾病予防、早期発見に向けての健診機関としての役割を果たすことに努めます。

目次

- ・ 倫理コンサルテーション発足・・・・・・ 2
- ・ 私たちのパートナー・・・・・・・・ 3
(しもせ内科クリニック紹介)
- ・ 検査項目のご案内・・・・・・・・ 3
- ・ 井上病院実績報告・・・・・・・・ 4
- ・ 診療担当表・・・・・・・・ 4



いのうえ通信

誠心会井上病院 地域連携室
〒819-1104 糸島市波多江699-1
TEL:092-322-3553(直通)
FAX:092-322-5985(直通)

<http://www.sih.or.jp/>

井上病院

検索

「臨床倫理コンサルテーションチーム」発足！

日頃の診療場面、病棟での患者さんやスタッフとのやり取りなどで、
なんだかモヤモヤしたことはありませんか？

例えば、患者さんにご家族の思いや考えている方向性が違う、
患者さんの希望と医療チームの考え方が違う、でも正直どう
したら良いのかわからない……。

あちらを立てればこちらが立たず、というような悩ましい場面を経験することは、誰しも一
度や二度ではないと思います。

患者さんは自宅に退院したいけど、ご家族はまだ入院を継続したいとか、患者さんはもう
この治療は中止したいのに、ご家族や医療チームの中には現段階での中止は無理だと思
っている人がいるとか、患者さんご本人の意思が曖昧な状況で、ご家族や医療チーム
が勝手に治療や今後の方向性を決めてしまっているのではないかなど、臨床の間では
様々な悩ましい場面に出くわします。

そんなモヤモヤの相談を受け解決に向けて一緒に考えていくために、「臨床倫理コンサル
テーションチーム」を発足しました。チームメンバーは現在21名、職種はバラバラで偏
らないように多職種を心がけているためかなりの大所帯ですが、毎回すべてのメンバー
が参加できる訳ではないので、ケースに合わせて召集をかけています。

2025年3月にキックオフミーティング、4月に正式に稼働、執筆時9月までの半年間に、6
件のコンサルテーションを行いました。

具体的には、「心不全の治療をどこまで継続するのか」「耐え難い苦痛に鎮静をかけるの
か」「経管栄養を中止して良いのか」「持続的鎮静をどう考えるのか」などです。

コンサルテーションチームを組織し、実際に相談を受けコンサルテーションをしていく中で、
単純に知識が増えたり、今まで深く考えていなかったことに新たな気づきがあったり、問
題解決の方法を経験したスタッフも少なくなかったのではないかと思います。

そして何よりも、困難な問題でも諦めずにみんなと一緒に考えていくプロセスを経験する
ことが、スタッフ自身にも患者さんやご家族のためにも、必要で重要なプロセスであるこ
とを認識し始めているのではないかと感じています。

これからも、悩ましい問題を一緒に考えていくために、このチームの継続と成長を温かい
目で見守り、応援していただけますと幸いです。



チームリーダー 臨床倫理認定士
医療ソーシャルワーカー 内田浩稔



● Our Partner ● 私たちのパートナー

しもせ内科クリニック

糸島市波多江駅北1丁目9-16
☎:092-332-1000

この度2025年9月1日糸島市波多江駅前に「しもせ内科クリニック」を開院させて頂きました、
下瀬茂男と申します。私の祖父である田中誠(旧糸島郡長糸村出身)が波多江で田中内科
医院を開業していたご縁もあり、この地で地域の皆様の健康を支える医療を提供したいと思
い開業いたしました。

久留米大学を卒業後に久留米大学消化器内科に入局し、消化器内科医として修練してま
いりました。専門は肝臓内科であり、脂肪肝、肝臓癌治療から終末期医療を中心に診療を
行っており、消化器内科医としては関連基幹病院(ヨコクラ病院、戸畑共立病院など)で臨床
経験を積んでまいりました。

当院では一般内科はもちろんの事、専門外来として肝疾患に力をいれていきたいと考えて
おります。ご存じの通り、脂肪肝の患者様は増加しております。脂肪肝はメタボリックシンド
ロームとの関連性や、進行する事で肝硬変、肝臓がんのリスク上昇、また様々な疾患との関
連性も指摘されており(食道癌、胆嚢癌、COPDなど)、早期発見・早期治療の重要度が非常に
高まっております。生活習慣と大きく関わるために、患者様に丁寧に説明し、ご理解頂けるよ
うに努めてまいります。また当院では発熱外来にも力をいれて

います。発熱外来の中は専用の隔離診察スペースを整備しております。
もし先生方が対処に困られるような発熱患者様がおられましたら、
是非ともご紹介いただけますよう、宜しくお願い申し上げます。

(本文は院長・下瀬茂男先生よりご寄稿いただきました)



しもせ しげお
下瀬 茂男 院長

尿中L-FABP測定開始しました

L-FABPとは？

腎臓の近位尿細管に存在する脂肪酸結合蛋白です。

腎障害が進行する以前の、尿細管周囲の虚血や酸化ストレスにより尿中に排出されます。
腎症の進行とは、尿中アルブミンの増加、末期腎不全への移行、および血液透析の導入
を意味します。

糖尿病性腎症の進行リスクの早期判別、急性腎障害(AKI)、高血圧患者における慢性腎
障害(CKD)の早期診断のマーカー、進行予測としても活用できます。

L-FABPをモニタリングし、その数値を下げるような集学的治療(食事療法、運動療法、薬物
療法など)を行うことで、重症化の防止と医療費の削減ができると考えられます。

算定上の留意事項；

※原則として3カ月に1回に限り算定

※尿中微量アルブミン(糸球体ろ過機能の破綻状態反映)とL-FABP(尿細管の破綻)は
同時算定可能

※レセプトに、「尿細管機能障害の疑い」もしくは「尿細管機能障害を疑う腎疾患診断の
補助」を記載する

